



報道関係者各位

一般財団法人日本航空機エンジン協会  
平成 26 年 12 月 22 日

## エアバス社「A320neo」に搭載される民間航空エンジン 「PW1100G-JM」の型式承認を取得

一般財団法人日本航空機エンジン協会（JAEC）が、米 United Technology Corporation 社の航空エンジン部門である Pratt & Whitney (P&W)、独 MTU Aero Engines AG 社 (MTU) と共同で開発を行っているエアバス社「A320neo」用エンジン「PW1100G-JM」の型式承認が、平成 26 年 12 月 19 日に米国連邦航空局（FAA）から交付され、民間航空エンジンとしての運用が正式に認められました。

「PW1100G-JM」エンジンは、P&W、JAEC 及び MTU が設立した合弁会社 International Aero Engines が主体となり 2011 年より事業運営がなされ、日本側のプログラムシェアは 23% で当協会を事業主体として（株）I H I、川崎重工業（株）、三菱重工航空エンジン（株）が参画しております。日本側の担当はファン、低圧圧縮機、低圧シャフト及び燃焼器であり、開発、製造及びエンジン整備を行います。また、本エンジンには、当協会及び参加企業が独自に開発を行った先進技術が適用されており、エンジンの軽量化、燃費改善に大きく貢献しております。

「PW1100G-JM」が搭載される「A320neo」は、民間旅客機で最大の需要がある 120～200 席クラスの最新型機で、既に約 3,800 機の確定発注がなされております。その内エンジンが選定された機体の約半分（約 1,100 機）に「PW1100G-JM」が選ばれており、今後も「PW1100G-JM」の優位性がお客様に評価され、ますます発注頂けるものと期待しております。

当協会は今後も、国内企業と連携して先端技術の開発を進めて行き、日本の航空エンジン産業の発展に努めてまいります。

以 上

お問い合わせ先：総務部 山本 (TEL : 03-6228-7383)

## ■ PW1100G-JMエンジン

### プロジェクトの概要

民間航空機市場の中で最大の需要を占める中型狭胴機は、就航開始後20年以上を経過した機体の代替需要と市場拡大に伴い、更に経済性および環境適合性に優れた航空機が求められています。

こうした市場の要求を受けてエアバス社は、A320型機(120~200席クラス機)の更なる低燃費、低公害そして低騒音を実現するため、新たなエンジンを搭載するA320neo型機の市場投入を決定し、そのエンジンには米国United Technology Corporation (P&W社)を中心に日・米・独3ヶ国が国際共同開発するPW1100G-JMが選定されています。

PW1100G-JMエンジンは、Geared Turbo Fan (GTF) システムを採用することで従来エンジンよりもバイパス比を大幅に上げた燃費に優れた環境に優しい高性能エンジンです。

PW1100G-JMプロジェクトは、参加企業設立の合弁会社を主体として事業運営がなされ、日本側のプログラムシェアは23%で当協会を事業主体として(株)IHI、川崎重工業(株)、三菱重工航空エンジン(株)が参画しています。

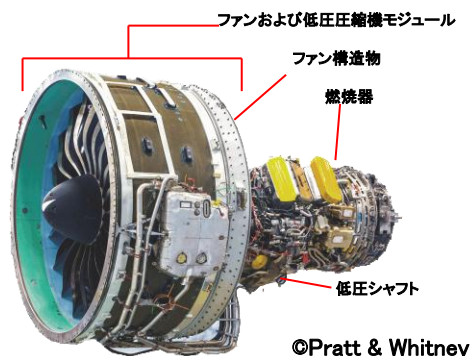


2014年9月25日初飛行



©Pratt & Whitney

### 当協会(JAEC)の担当部位



©Pratt & Whitney

### エンジンの仕様

緒元\エンジン	PW1100G-JM
全体	ギアード・ターボファン
推力(ポンド)	24,000~35,000
ファン径(インチ)	81
バイパス比	約12
各要素段数	圧縮機 : ファン:1段、低圧: 3段、高圧: 8段 タービン: 高圧: 2段、低圧: 3段

### 開発スケジュール

2012年	11月	開発エンジン初号機運転
2014年	9月	初飛行
	12月	FAAからPW1100G-JMエンジン型式承認取得
2015年		商業運航開始

